

連携・協働のカ・タ・チ

令和3年12月23日発行 福島県教育庁会津教育事務所



当事者意識を高める コミュニティ・スクール運営の工夫

＝ 熱塩加納地区学校運営協議会の取組〈その1〉 ＝

熱塩加納地区学校運営協議会（以下、熱塩加納地区CS）では、学校運営協議会委員（以下、CS委員）が授業に参加したり、教職員も参加する熟議を実施したりするなど、CS委員をはじめ、教職員の“当事者意識”を高める工夫をしています。

今号及び次号の2回にわたり、喜多方市立加納小学校で行われた「第3回学校運営協議会」（令和3年12月17日開催）における取組の概要と様子について紹介します。



「熟議」をするCS委員と教職員の皆さん

【日程】 14:40～15:25

授業参観

ここに注目👉 CS委員の“授業参加”

〈学年及び単元〉6年 総合的な学習の時間「農業科ミュージアムをつくろう」
〈授業のねらい〉よりよい「農業科ミュージアム」にするために、CS委員の方々にアドバイスをいただき、改善の見通しを持つ。

15:40～16:40

学校運営協議会

ここに注目👉 教職員の“熟議参加”

- 〈熟議〉加納小学校の課題についてみなさんのお考えをいただけませんか
〈課題〉「もっと元気にあいさつができるようにしたい」
〈進め方〉① 加納小学校の課題と熟議の仕方の説明
※ 登校時のあいさつの様子の録画を視聴いただくほか、CS委員の方に、実際の朝のあいさつの様子を見ていただく機会を事前に提供しています。
② 小グループによる熟議
※ 5つのグループ毎に行います。加納小学校の教職員が各グループに入りCS委員と一緒に熟議を行います。
③ 全体での共有
※ 熟議で出された意見等について、各グループから発表してもらいます。
④ まとめ
※ 熟議を踏まえて、校長先生が今後の取組の見通し等について話します。

16:40～17:00

指導

〈指導助言者〉福島県教育庁会津教育事務所 主任社会教育主事
〈内容〉「熟議」から「協働」への接続と校長のマネジメントについて

👉裏面：授業参観「農業科ミュージアムをつくろう」の様子を御覧ください。

授業参観《CS委員の“授業参加”》

【授業の展開】 6年 総合的な学習の時間「農業科ミュージアムをつくろう」

時間	児童の主な学習活動 と	本時にご協力いただく皆様のご支援
14:40 (10分)	1 本時のめあてを確認する。 (1) 今日の活動のねらいをCS委員の方々と共有する。 もっとよいミュージアムにするために！説明しよう。相談しよう。 (2) CS委員の方へ説明することや相談することを確認する。 (3) これまでの自分達の活動による成果を実感する。 ・やった！ ・よしもっとよくするぞ！	高橋さんにアイマスク着用でご登場いただけます。アイマスクを外し、部屋の変化についての感想を率直に述べていただくようお願いいたします。
14:50 (30分)	2 活動班ごとに、これまでの活動や作成物・展示物について説明をする。 (1) 班にご助言をいただく方々を説明ブースに案内する。 (2) 作成した展示物等について説明をする。 「分かりにくいところ」「もっと加えた方がよいところ」 ・そうか・・・これを加えようかな。 ・なるほど そうしよう。 (3) 農業科ミュージアム展示の活動をしていて困っていることを相談する。「こんなものがあれば・・・」 ・ありがとうございます。 ・教えてください。	展示物を見ていただきながら児童の説明を聞き、分かりにくさ・不十分さ等について「もっとこうの方がよいのでは」と助言をお願いします。質問もぜひお願いします。 資料や、知っている方の情報などを答えていただくようお願いいたします。
(3) まで終了した班は次時の活動計画話し合いを行います。早めに終了した場合は、これまでの農業科ミュージアムづくりの活動はどのような活動だったのか、児童に尋ねるなど交流していただけたらと思います。		
15:20 (5分)	3 本時の学習を評価し、次時や今後の活動の見通しをもつ。 (1) よりよい展示にするための活動を計画する。	
15:25	(2) 今後の学習活動について知る。 ・1月「まごころ野菜生産者・農業支援員」の方をお招きしよう。	



▲CS委員に展示の説明をする児童▼



▲CS委員に展示の説明をする児童



▲児童にアドバイスするCS委員▼



▲CS委員に展示の説明をする児童



▲児童にアドバイスするCS委員▼

CS委員の皆さんは、授業参加を通して児童と交流したことで、児童への親しみを感ずるとともに、「子どもたちのために」という思いをより強くしたようです。
 次号は、熱塩加納地区の「熟議」の様子について紹介します。どうぞ楽しみに！

